

地域別にみると・県中地域が93件で、全体の23.7%であり、次いで会津地域が91件で、全体の23.2%、県北で83件、21.1%の順となっている。

史跡については、近年、地域開発の進展に伴って、その保存の必要性が増大している。また史跡指定地は民有地が多いため、私権との関係で、保存上種々な問題が提起されている。

名勝・天然記念物については、広大な土地を有する県として名勝地の指定が少ない。

天然記念物は、地域開発の推進により、自然条件が変化し、天然記念物の保存のため、広域指定の必要が生じている。

従って、今後は、指定件数と併せ、指定区域の拡大を図る必要がある。また、民有地の公有化の促進を図る必要がある。

④ 埋 蔵 文 化 財

埋蔵文化財は、県内各地域に分布し、しかも土中にあるため、その指定と保存対策が文化財保護上大きな問題となっている。特に、地域開発の推進とともに埋蔵文化財の保護は緊急課題となっている。

表 5-3-11 地域別埋蔵文化財遺跡の状況

(単位：遺跡，%)

昭和51年度の時点における埋蔵文化財包蔵地は4,018件である。

地域別にみると、県中地域に1,379件存在し最

も多く、全体の34.3%を占めており、次いで県北地域19.4%、相双地域15.4%、会津地域10.2%の順となっている(表5-3-11)。

更に、市町村別にみると、県内90市町村全域に存在し、郡山市の460件が最も多く、次いでいわき市、須賀川市、福島市の順となっており、それぞれ300件を越えている(表5-3-12)。

表 5-3-12 市町村別埋蔵文化財・遺跡数 (昭51年度)

区 分 市町村名	埋 蔵 文 化 財 包 蔵 地									
	総 数	旧石器	縄 文	弥 生	古 墳	官衙・廃寺	土師・須恵	城 館	窯	その他
福 島 市	330	8	152	2	91	9	51		10	7
川 俣 町	31		30						1	
飯 野 町	7		6				1			
桑 折 町	17	4	10				3			
伊 達 町	2		1		1					
国 見 町	35		17	2	9	1	2		2	2
梁 川 町	11		9		1		1			
保 原 町	18		4	1	9		4			
靈 山 町	61		42		3	2	10	4		
月 館 町	12		5		4		3			
二 本 松 市	47		29	3	11	1	3			
安 達 町	20		11		7		2			
本 宮 町	39		8	3	12	1	15			
岩 代 町	3		3		2					
東 和 町	16		14		2					
大 玉 村	80		32	8	22	1	17			